

周波数帯の検討に当たって考慮すべき事項（案）

1 「高度化3G」

現行システムの発展形態。

2 「4G」

伝送速度100Mbps以上を実現するためには、新たにまとまった周波数帯域の確保が必要。

なお、周波数帯としては、WRC-07の結果を踏まえ決めることとなるが、我が国からは3.4GHz~4.2GHz、4.4GHz~4.9GHzを候補周波数として提案している。

3 「常時接続型システム」

移動通信システム等との融合又は単独系で共存して提供されることから、現在、実際に電波が割り当てられている周波数帯とは別の周波数帯を、需要に応じて割り当てていく。なお、分配に当たっては、広帯域移動通信システムの一形態であり、早期（2007年頃）の導入が予想されることを考慮。

なお、周波数の割り当てに当たっては、周波数の使用条件として、専用、専用／共用、共用によるシステムの実現性や、確保可能な周波数の算出のため、隣接システムとの必要ガードバンド幅についても検討を行うことが必要。